

令和7年 第7回教育委員会（会議録）

令和7年7月16日（水）

午前9時30分～

坂祝町中央公民館 会議室

日程第1 開会

※教育長が開会を宣言する。

出席委員確認

	教育委員	古田 博英
		兼松 悟
		原口 かおり
		安江 紫乃
	教育長	渡辺 英哉
教育委員会事務局	教育課長	野口 友宏
	こども課長	岩井 正義
	教育課主幹	前田 加代子
	教育課係長	林 伸孝
	教育課主任	飯沼 由紀子

日程第2 前回教育委員会の確認

※教育課長が資料に基づいて報告をする。

日程第3 教育長、教育委員報告事項

教育長 前回から今回までで、幼小中ともに落ち着いて生活が来ています。心配されていた中学校のラフティングも実施でき、充実した機会になりました。また、7月9日は小学校の授業参観が行われ、熱中症で具合が悪くなった保護者もいて心配しましたが、大変多くの方に子どもたちの様子を見ていただけました。町や地区の校長会、県町村教育長会の夏期研修、7月10日には町の点検評価委員会、7月14日にはWebにて全国市町村教育委員会教育長会議があり、文科省からの説明がありました。そういった中で、今日は3つご説明したいと思います。1つ目は熱中症対策、2つ目はICTの活用、3つ目は給特法の改正についてです。まず熱中症対策についてですが、バスや冷凍庫など様々な報道がされていますが、坂祝町でも町のバスが使えないか考えましたが、ルートが決まっており、子どもを乗せるためにルート変更するのは難しいとのことで、町としては夏休み中に小学校の各教室に60リットルの冷凍庫を購入することと、中学校には冷水器を3台設置します。まだ設置場所は検討中です。塩分タブレットはすぐにでも購入を考えています。小学校では熱中症対策について自分で何ができるかを考えさせ、睡眠をとることやスポーツドリンクを飲むことなどを、全校放送で啓発しま

した。保護者も意識付けできるように、働きかけをしています。点検評価委員会の中で大学の先生にも「暑熱順化」という言葉を教えていただきました。熱いシャワーやストレッチなど、暑さに対応できる体にしていくというもので、大人だと数日から2週間程度で適応しますが、子どもだと1ヵ月くらいかかるそうです。自分の反省としては、今まで毎年、何かがあってから対応をしていましたが、もっと見通しをもってやらなければならないと思いました。今やろうとしている熱中症対策は、本当ならゴールデンウィーク明けぐらいから動き出さなければならないと思います。子ども110番の家への協力ももっと早くから対策しておくべきだったと思いますし、冬の対策があれば今のうちから考えていき、来年度予算にも漏れなく反映させていきたいと思っています。次にICTの活用についてですが、中学校では今年、アクセスポイントの更新を行います。点検評価委員会で大学の先生にも言われましたが、子どもがすぐに使えるように手元にいつもタブレットがある状態だと良いとのことでした。日常的に子どもたちがタブレットをすぐに使える状態にしたいと思います。全国学力状況調査の結果がもうすぐ返ってきます。この中の調査で、昨年度で言いますと、タブレットを週3回以上活用している小学校は93%、中学校は91%で、前年度より3~4%増えている結果となっています。また、課題解決に向かって話し合っまとめて表現する、考えをまとめてICTを使って表現する、こういったことをやっている学校とやっていない学校では確実に正答率が違うという結果が出ています。また、9割の児童生徒が、分からないことがあったらすぐに調べられるということにICTの良さを感じています。画像、音声、動画などを活用することで学習内容が良く分かるようになります。また、いつも平均が報道されますが、個人個人の差をICTで全部埋められるわけではないですが、調べたいことがすぐに分かったり、友達と情報を共有したりすることでその差を埋めていくことができるかもしれません。さらにICTを使って高揚感を感じている子のほうが挑戦心、自己有用感、幸福感が高い傾向にあるという結果もあります。これらをふまえてICTの活用を考えていきたいと思っています。最後に給特法の改正についてですが、教職員の給料調整額を4%から10%へ段階的に上げていくことが報道されており、自分もそこだけしか捉えていませんでしたが、実際には学校における働き方改革のさらなる加速化に向けて、教育委員会がやるべきことや、教員の業務量の適切な管理、保健福祉の確保のための改正であり、それを見える化して報告していくことになると思います。また、総合教育会議の中でも報告してくことになると思います。

兼松委員

タブレットで学習をまとめて表現し、自己表現することで主体的になっていくという話がありましたが、中学校で以前見たとき、タブレットでドリル学習にしか使っていませんでしたが、今は進んでいるのでしょうか？

- 教育長 算数のWebラーニングなどもやっていますが、まだまだ活用していく余地があると思います。
- 兼松委員 もっと活用方法を研究していったほしいと思います。報道で教員の信頼度のことが言われていますが、研修などは行っていますか？
- 教育長 性暴力を防止する研修などは行っています。そういった問題を起こす人を採用しないように見抜けと言われていますが、難しいと思います。そういった趣向が本人にあっても行動に移さなければ良い、そういった研修を行っています。
- 兼松委員 ラフティングについて、新聞に水難事故の記事が載っていました。ヘルメットやライフジャケットなどを着用して行っていると思いますが、安全性について聞きたいと思います。水難事故防止の鉄則は危険な場所には寄らないということだと思いますが、中学校の先生の立場で、実施して安全面はどうだったかを聞きたいです。また、小学校でやったような着衣泳や、流されたときの脱力感のことや浮力を感じる授業をやってほしいです。
- 教育課主幹 中学校で実施後のヒアリングを行いました。まず、病気やケガといったものはありませんでした。安全面では、業者側が1台に1人必ずインストラクターを付けて監視し、細かい指示も的確にしていました。ウェットスーツとライフジャケット、ヘルメットを着用し、靴や眼鏡、コンタクトレンズについての注意も行い、流されたらどうなるかの説明もした上で、子どもたちの自己判断で川に入るかを決めさせました。学校側も絶対に羽目を外した行動を取らないように丁寧な指導を行いました。もうやめたほうがいい、怖かった、というような声はありませんでしたが、天候に大きく左右されるので、実施においてそこは難しいところです。体験させてあげられたことは良かったとのことでした。喘息やアレルギーなども事前に確認し、無理はさせないよう実施していました。
- 古田委員 7月4日の町村教育長会夏期研修会に参加させていただきました。県の統括官や課長から教育長たちへ話をする会でしたが、統括官も課長もそれぞれ違うタイミングであいさつをしたにも関わらず、お叱りを受けることを覚悟していますという断りを言っていました。年度途中の欠員で現場が混乱しているということをちゃんと県へ上げているということが分かりました。予算をしっかりと確保しないといけないという話をされていましたが、教員の数大丈夫か？という保護者はいないので、首長の考えがしっかりしないといけないと思いました。この現状を何とかしなければいけないということを言い続けなければ変わらないと思いました。
- 兼松委員 6月18日に坂祝保育園へ訪問したとき、園の先生が保護者に寄り添って相談に乗っていることがよく分かりました。親の自立を助けるための教育相談はとても大切なことだと思いました。教育委員会やバンビーニにもそういった相談窓口はありますか？

- 教育課主幹 教育委員会でも子育ての相談には乗りますが件数は少ないです。どちらかというと特別支援の相談で対応することがあります。
- こども課長 バンビーニ自体がもともとそういう機関です。つくんこ教室が一緒にあることも強みです。また、教育委員会ではないですが役場の保健センターもそういう相談に乗ります。
- 古田委員 産後うつは多いですか？
- こども課長 最近多いです。通われている医療機関と情報共有しながら対応します。また、昨年度から産後ケア事業を始めています。
- 兼松委員 美濃加茂市が小学校に冷凍庫を配置する記事を新聞で見ました。坂祝でも冷凍庫を配置すると聞いてよかったと思いました。また、新聞の記事でプールの老朽化や熱中症対策で、水泳指導をやめて座学を行うというものがありました。自分としてはやはりプールで水泳指導をやってほしいと思います。もし今後、学校建設の話などが出てきた場合は、ぜひプールも作ってほしいです。夏休みの当番なども保護者で当番するのは今後難しくなっていくかもしれませんが、町民に呼びかけて見てもらうなども良いと思います。
- 安江委員 熱中症については気になっており、地域として今すぐできることを考えていたとき、１１０番の家を考えてみました。ちょうど子どもたちの下校のときに通学路のすぐそばに自分の職場もあるので、子どもたちを見ています。赤い顔をして歩いている子を見て、「休んでいく？」と声かけもしますが、子どもは「大丈夫です」と言って歩いていきます。お店として子どもたちが休んでいける関係性が作れたらよいと思いました。中学校でＳＯＳの出し方授業を行うと便りで見ました。子どもにどんな力をつけられるかということで、ＳＯＳをしっかり出せる子になってほしいと思い、見に行きたかったのですが、用事で行けませんでした。どんなふうに指導されたのかまた聞かせていただきたいと思います。
- 教育課主幹 ＳＯＳの授業を見てきました。９月は中高年の自殺が増えるというデータがあり、夏休み前に必ずＳＯＳの出し方教育を行っています。電子黒板でプレゼンを見せながら、全校放送でスクールカウンセラーによる説明がされていました。ストレスはデメリットだけでなくメリットもあるという話から入り、子どもたちの認識を和らげながら話していきました。ストレスの対処法には大きく二つあり、一つはストレスから離れさせて楽しいことに集中して忘れる時間を作るということが挙げられました。しかし、それだけでは問題解決にならず、もう一つは相談できる人をつくるということが挙げられました。話すことでスッキリし、解決するにはすごいエネルギーが必要になるが、そうやって話しているだけでもだいぶ気持ちが違うという話をされていました。ストレスの捉え方を知らない子どもが多い中で、勉強や友人関係などの悩みを抱えることなく、誰かに相談してもいいんだという感

覚をもって授業が終わりました。来年以降はＳＯＳを出した子を受け止める側がどうしたらいいかというところまでレベルが上がると良いと思います。

原口委員 中学校の参観日を見に行きましたが、熱中症対策でクーラーがよく効いていて、子どもたちは長袖のジャージを着ていましたが、ファッションなのか冷えすぎていたのかは分かりませんでした。プールの授業で、暑すぎてプールサイドで火傷したという話もありますが、もし今度学校を建設するときにあれば、費用はかかるとは思いますが、屋内プールも良いと思いました。大阪万博へ行ってきましたが、愛知万博と違って島で平地なので範囲も狭く、建物も密集していて風もあまり通らないような感じでした。ネッククーラーも付けていましたが２０分くらいしか冷たさがもたなくて、通学で使っている子がどのくらいいるのか気になりました。冷凍庫を設置することなので、どの子も使えると思いますが、１時間ごとに休憩するなどの暑さ対策をしてほしいと思います。先日給食センターの運営委員会に出ましたが、幼稚園の保護者も来ていて、給食はありがたいと言っていました。センターからは物価上昇で値上げをする説明がありましたが、値上げしてもまだその安さであのクオリティの給食が食べられるということはとてもありがたいことだと思います。他で食べたら１，０００円くらいかかって、コンビニで少し買っただけでもすぐに５００円くらい超えてしまうので、値上げについては良いと思いました。

日程第４ 議事

（付議事件）

議案第２７号 令和８年度使用教科用図書の採択について

議案第２８号 坂祝町教育委員会の点検評価について

※事務局から資料に基づいて説明をする。

兼松委員 会議録の情報発信のところで感想をいただくと書いてありますが、そういうことはありますか？

教育課主幹 今は特にありません。

兼松委員 不登校対策のところ、小学校６名、中学校３名いるということですが、まったく来ないという子はいいますか？

教育課主幹 ４月から全欠の子はいません。

兼松委員 議場を開放するということを聞いて良いことだと思いましたが、美濃加茂の東図書館は個室スペースがあり、高校生や児童生徒がよく学習しています。坂祝は５つしか机がないので、図書館を作ることがあれば学習スペースを作るとよいと思いました。放課後こどもプランのところでＣ評価があり

ましたが、これは大人の評価ですか？

こども課長 指標がアンケート結果になっており、アンケートを取っていなかったため
C評価となっています。次回の指標を決めるときは検討します。

古田委員 ふるさと教育、キャリア教育で、小中一貫したふるさと教育とありますが、
具体的にはどんなことをしましたか？

教育課主幹 校長会の中でどんなテーマにするかを話題にしながらも、2年前に一体化
するために教務主任会でプログラムを編制し直して、継続してやっていま
す。子どもたちの中でも何年生になったらこういうことを学習するという
見通しが持っています。それをベースにしながら続けています。

議案第29号 坂祝小学校準要保護児童の認定について

※事務局から資料に基づいて説明をする。

教育長 議案第27号、28号、29号について異議はありませんでしょうか。

教育委員 異議なし。

教育長 異議なしと認めます。

(報告事件)

報告第23号 坂祝町教育委員会後援名義の使用許可について

※事務局から資料に基づいて報告をする。

日程第5 その他

当面する教育関係諸行事について

日程第6 閉会

※教育長が閉会を宣言する。

閉会 午前11時02分